

第5回 国際大会（フィリピン大学セブ島）のご案内

大会実行委員長（日本） 久保裕史

創刊号で、小原会長からご案内頂きました標記大会の詳細が略決まりました。以下にご案内申し上げます。会員の皆様のご投稿をお待ち申し上げます。

1. 開催会議名：第5回国際 P2M 学会国際大会
2. 開催テーマ：
主題：グローバル市場の熾烈な競争下におけるプロジェクト&プログラムマネジメントの役割
副題：イノベーションでアジアを先導する新しいアプローチ
3. 開催日：2017年3月24日(金)
4. 開催場所：フィリピン大学 セブ・キャンパス (University of the Philippines, Cebu Campus)

分：交通渋滞のない場合)

5. 主催団体名：一般社団法人国際 P2M 学会 (IAP2M)、フィリピン大学 (University of the Philippines : UP)
6. 後援：総合工学振興財団、キューピー株式会社、株式会社ヒューマンシステム
7. 大会ホームページ：
<http://icp2m2017.org/>
8. 開催趣旨：
経済成長には次の3つの要素が必要である。それは、労働人口の成長率・資本ストックの成長率・技術革新の適用状況である。多くの企業が海外に移転しており、社会が急速に高齢化している中で、技術の進歩は日本の成長をもたらすものである。フィリピンのように

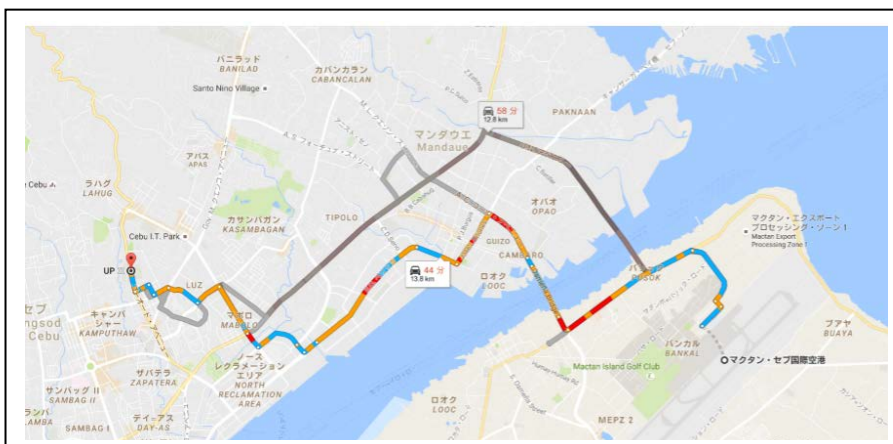


図1 マクタン・セブ国際空港からフィリピン大学セブ・キャンパスへの経路（自動車で13.8km，44

に若年人口が多い国でも労働人口減少の可能性がある。従って、両国の企業の活性化・強化に向けて経済的・技術的な革新を導入することが不可欠である。

特に運輸、電力、通信、水サービス部門のインフラ改善は、競争

力をより高めるためフィリピンにとり重要である。一方、日本政府はアジア地域の新興経済国を支援する用意が常にある。グローバルレベルでの熾烈な競争があり、特にエネルギー、天然資源と環境では、先進国と発展途上国間の協力とパートナーシップが不可欠である。

企業が世界市場で競争するためには、組織とそのリソースを効率的に管理し、特にプロジェクトの実施と管理において変化する状況や要求に対応する能力を持っていることが重要である。効率的・効果的なプロジェクト管理とプログラム管理を実現するための、理論と実践的な方法を提供することがP2Mの役割である。そして、これらの方法を提示・議論し、フィリピンと日本ができる共同の活動を探求することがIAP2Mの目的である。

9. メイントラック

トラック1 : 理論と実践、革新を先導するプログラムマネジメント

トラック2 : P2Mアプリケーション

10. トピックス

- ① 本版 P2M : イノベーション、開発と改善
- ② 知識ベースの開発戦略
- ③ 国際パートナーシップ/コラボレーション
- ④ 新しい価値創造活動

- ⑤ 地域活性化
- ⑥ インフラ開発
- ⑦ ビジネス改革戦略
- ⑧ 教育とトレーニングプログラム
- ⑨ その他 関連トピックス

11. 主要日程

要旨投稿締切日

2017年 1月10日

受領通知

2017年 1月23日

論文投稿締切日

2017年 2月10日

発表プログラム暫定版掲示

2017年 2月15日

参加登録締切

2017年 2月20日

発表プログラム最終版掲示

2017年 2月28日

大会開催日

2017年 3月24日

12. 投稿先

要旨と論文は、次の URL から投稿して下さい。

日本国内の方:

<https://goo.gl/27yQIO>

フィリピンの方:

<https://goo.gl/Iw86Mj>

13. 執筆要領

- ・全てを英語で作成。
- ・要旨は180ワード以内で作成して下さい。
- ・論文は5~8ページの範囲で作成して下さい。
- ・小論文は3~4ページの範囲で

作成して下さい。

・論文は APA 形式に準拠して作成して下さい。

・PDF/Word/ ODT 形式の文書で作成して下さい。

・フルペーパーの原稿フォーマットのダウンロード先

<http://icp2m2017.org/camera-ready-manuscript-submission/>

14. 掲載

・受理された発表論文は大会資料（プロシーディング）に掲載されます。

・発表論文は P2M セッション担当で予備査読を行い、国際 P2M 学会の論文としてふさわしい内容の論文が論文審査委員会に推薦されます。論文審査委員会で、通常の国内大会の査読手順で審査を行い、掲載可となった論文が学会の電子ジャーナルに掲載されます。

15. 暫定プログラム

3月24日（金）

09:00-09:20 UP&代表者の挨拶

09:20-12:00 基調講演（各 30 分）

12:00-14:00 昼食・交流会

14:00-17:00 論文発表（各 30 分）

18:00-20:00 夕食・懇親会

16. 基調講演講師

UP

Elvira A. Zamora UP 副学長,
Business Administration 教授、
Liza D. Corro 教授, UP 学長代理,
学部長

日本

吉田 邦夫 東京大学 名誉教授,
IAP2M 名誉会長

山本 秀男 中央大学 教授,
IAP2M 副会長

久保 裕史 千葉工業大学 教授,
IAP2M 評議員

17. 参加登録方法

・申込み先（準備中）

・参加費：10,000円（交通費・航空費・宿泊費・保険料など、大会で設定されていない要素は全て参加者が負担）

・参加には会員登録と入会金・年会費の納入済みが条件となります。

会員登録

<http://www.iap2m.org/accept.html>

18. 問合せ先：国際 P 2 M 学会事務局

http://www.iap2m.org/regist_p2moffice.html

19. 大会組織

委員長 吉田 邦夫 東京大学 名誉教授, IAP2M 名誉会長
副委員長 小原 重信 博士,
IAP2M 会長

副委員長 Elvira A. Zamora
University of the Philippines
副学長

20. 実行委員会

(日本)

実行委員長 久保 裕史 千葉
工業大学 教授, IAP2M 評議員
副委員長 綿木 久雄 事務
局長, IAP2M 理事
副委員長 田隈 広紀 千葉
工業大学 准教授, IAP2M 評議員
副委員長 中山 政行 東京
農工大学 助教
委員 山本 秀男 中央
大学 教授, IAP2M 副会長
委員 亀山 秀雄 東京
農工大学 名誉教授, IAP2M 副会長
委員 沖浦 文彦 JICA
東京事務所
委員 佐藤 達男 広島
修道大学 准教授
会計 吉川 誠治 IAP2M

(U P)

実行委員長 Liza D. Corro 学
部長, 学長代理
副委員長 Elvira A. Zamora
副学長, Business Administration
教授
委員 Yuleta Orillo 博士
Tiffany G. Tan 博士
委員 Gretchen Chavez 博士
Jane Matero 博士
委員 Leahliz Sia 博士
Marilou Busano 教授
委員 Jesus Cinco 教授
Ernesto Yap 教授
委員 Rhenozo Barte 教授
Stevenson Uy 教授
委員 Jeff Macfarland 教授
Joan Aileen Vicente 教授
委員 Mr. Carlos N.
Forteza Mr. Richmon M.
Pancho